

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	2008年9月30日
調査実施の時間	開始10時10分～終了15時40分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム 輝望の家 (鹿児島県)
-------------------	--------------------------

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名 _____ 石松 成子 _____
	氏名 _____ 浜田 千里 _____
事業所側対応者	職名 _____ 管理者 _____
	氏名 _____ 入佐 敬子 _____ ヒアリングを行った職員数 2 名

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 10月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定 第4690300076号		
法人名	有限会社 メディカルウイル		
事業所名	グループホーム 輝望の家		
所在地	鹿児島県鹿屋市輝北町上百引1919-1 (電話) 099-471-3456		
評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構		
所在地	鹿児島市星ヶ峯4-2-6		
訪問調査日	平成20年9月30日	評価確定日	平成20年10月31日

【情報提供票より】 (20年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 9月 25日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算	8.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	7,500 円
敷金	有() 円 ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(9月15日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 79.7歳	最低 71歳	最高 87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人青仁会 輝北クリニック・医療法人青仁会 池田病院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地に総合ケアセンターとして、ミニデイサービス・デイサービス・グループホームが併設され、三事業所の連携や協力関係が築かれている。利用者と職員との馴染みの関係が継続でき、地域密着型サービスとして地域の中でその人らしく暮らしつづけることを支えている。医療連携体制の指定を受け、重度化や終末期の対応について明確な指針を決めている。職員は常勤配置され、居心地の良い生活空間の中で利用者本位の気配りのされたケアサービスを実践している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	開設1年目のため、今回が初めての評価である。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員が評価の意義や活用を理解する取り組みはこれからである。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、介護用品や利用者の服装・整容などについての率直な意見が出され、それを基に職員全員で話し合い、ケアの向上に活かす取り組みを行なっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 入居時に苦情・相談の窓口について説明し、苦情・相談箱も玄関に設置している。家族会や運営推進会議に家族代表に参加を呼びかけ、家族が意見や苦情を表す機会を設けている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、花見や共同作業などに参加している。夏祭りに地域住民を招待したり、ボランティアの受け入れや・保育園児・中学生との交流も行っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの役割を考え、事業所としての理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホームの目に付きやすい所に掲示し、管理者・職員は理念を基本に毎日のサービスに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、花見や共同作業などに参加している。夏祭りに地域住民を招待したり、ボランティアの受け入れや保育園児・中学生との交流も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が評価の意義や活用方法を理解し活かす取り組みはこれからである。	○	運営者・管理者・職員は評価の意義や活用に取り組み、評価をサービスの質の向上に活かすことが期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に家族代表や地域住民・市担当者など多くの人に参加してもらい、衛生面や苦情処理などの意見が出され、ホームの理解やサービスの質向上のために活かす取り組みをしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	制度やマニュアル作成などについて市担当者に相談したり、運営や実情を伝えるなどして連携を取り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日頃の様子や暮らしぶりは面会時や「輝望の家新聞」を発行し報告している。健康状態については、そのつど電話で報告し、金銭管理は面会時に確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議に家族代表に参加を呼びかけ、家族が意見や不満・苦情を表せる機会を設けている。意見を運営に反映させ、質の向上に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者・管理者は職員の異動等による影響を考慮し、夜勤時の指導など、職員と利用者の馴染みの関係ができるまで、ダメージを防止する取り組みを行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が研修を受ける機会を確保するため、交代で研修に参加させている。また他のグループホームへ研修に出かけている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の連絡協議会に加入し、他のグループホームや施設との情報交換などを行い、サービスの質向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があれば、本人や家族に見学を勧めたり、職員が自宅や病院を訪問し、馴染みの関係を作るよう努めている。併設のデイサービス利用者は馴染みの関係が築かれておりスムーズに入居している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「利用者は人生の先輩である」という考えを職員が共有し、利用者から生活の知恵や手作り料理など教えてもらったり、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の聞き取りや日常の会話・表情から思いや意向を汲み取るよう努めている。困難な人は家族からの聞き取りや本人の気持ちになって考えるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見を聞いたりアセスメントを基に、ミーティングや職員会議で話し合っ、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に評価を行い、状態変化や本人・家族の希望など、必要に応じて介護計画の見直しをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族と相談し、医療関係体制を活かした支援や通院介助・外出の送迎等を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者や家族の希望する主治医の受診を支援している。病状により往診や訪問看護を受けることもある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制の下に、入居時に重度化や終末期について指針を示し、本人家族に説明を行っている。状況変化があれば主治医や関係者と話し合いをしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会で話し合っ、入居者の誇りやプライバシーを大切に、毎日のケアに取り組んでいる。個人情報の取扱にも配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、利用者のペースを大切に過ごしてもらっている。外出など利用者の希望に沿えるように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や味付け・後片付けなど入居者にも手伝ってもらっている。献立も入居者の希望を取り入れ、好みの食事を工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者は入浴を楽しみにしており、希望者は毎日入浴できる。浴室も広く、手すりや浴槽の位置など利用しやすい工夫がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや茶碗洗いなどできることをしてもらったり、毎日のリズム体操や紙粘土など楽しく過ごせるよう支援している。季節の花見や道の駅の足湯なども気晴らしになっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日はベランダでの外気浴や散歩を勧め、買い物やドライブ・遠足など戸外に出る機会を作って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員による利用者の状況把握や見守りで鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域消防団との協力関係のもと、年2回避難訓練を実施している。災害時の非常用の備品や食糧なども準備している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、献立は栄養士の指導で栄養バランスに配慮している。刻み食やおかゆなど一人ひとりに応じた支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレや浴室など利用しやすい広さがあり、手すりなど工夫をしている。食堂やリビングも開放的で、台所の様子が見られ、家庭的な雰囲気です。居心地よく過ごせる共用空間である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にタンスや洋服かけ・姿見など使い慣れた物を配置したり、家族の写真を飾るなど、利用者がその人らしく過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。